

第1回 学校評議員会

日時 令和2年6月30日(火) 9:30
場所 本校小会議室
参加者 評議員 正木啓子様 (山角会富士吉田診療所心理室カウンセラー)
宮下美佐江様 (石原会計事務所・主婦)
栗井晶子様 (公益財団法人栗井英朗環境財団法人代表理事)
勝俣光司様 (富士吉田市立下吉田中学校長)

職員 校長 事務長 第一教頭 第二教頭 総務部主任(記録係)

- 1 校長挨拶
- 2 委嘱状交付
- 3 自己紹介
- 4 学校評議員の活動に関する説明(廣瀬教頭)
 - ・令和元年度の活動報告について[資料説明]
 - ・令和2年度の年間計画について[資料説明]
- 5 本校の概要説明(古屋校長)
 - ・教育目標等について
 - 「指導の継続性に鑑み、教育目標等については変更をしません。」
 - ・学校の概要について

～校長～

*DVDを視聴してもらい、概要を説明

- ・「校歌応援歌指導」について

新入生は、とにかく吉高の雰囲気さえ掴めないまま家庭での学習が続いたので、本校の様子をまとめた動画を配信し、少しでも吉高になじめるようにした。

① 「動画配信授業」について

- ・『スライド講座バージョン』と『演習講座バージョン』を視聴してもらい、状況を説明
配信授業講座15分、各自演習15分、振り返り15分で家庭学習を進めた。

② 「生徒による応援動画」について

- ・生徒自身が、自発的に動画を作成し、学校の許可を得て「応援動画」を配信した。このような自発的な行動はたいへん頼もしく思いました。
- ・動画配信を通じて思ったことは、不登校や疾病による長期休業を余儀なくされた生徒に対し、授業の遅れをカバーできるメリットがあるということでした。

*You Tubeを活用した利点は、あとから視聴状況の分析が出来ることでした。

そこから見えてきた主なものに、昼夜の時間帯が逆転してしまった生徒がいたことがわかったことです。理由については、いろいろと考えられますが、中には保護者が在宅勤務をするにあたり、家庭のPCが昼間に利用できなかったというのもありました。

このようなことがわかったことにより、今後の課題も見えてきました。

*Microsoft社のTeamsを活用することで、朝のSHRを実施し、生徒が一斉に参加することで、生活リズムを整える効果があることもわかりました。

*吉高GPの振り返りについても、自己評価だけでなく、Benesse社と情報をクロスさせることで、客観評価もできるようにしていく。

* 今回のコロナ禍下での状況を通じて、なお一層 ICT を活用していくことのメリットを感じた。

- ③ 前年度のご意見・ご要望の中に、「発信力」「行動力」を意識して指導してほしいとの意見がありましたが、それについては、出来る限り身につけられるように指導していきたい。まずは、一步踏み出す勇気をもてる様になってほしい。失敗を恐れず、チャレンジしていくことが大切であるという思いをもってほしい。また周囲の生徒には、人のチャレンジをからかうことのないような雰囲気をもってほしい。
- ④ ボランティア活動についても意識向上や活動の必要性についてのご指摘を受けましたが、今年からは、ユネスコスクールへの加盟申請を契機に、SDG s 意識させ、ボランティア精神を養うことに力を入れていきます。ボランティア活動については、従来部活動を中心に動いてきましたが、これからはこれらに加えて SDG s を意識して考え、行動できるように指導します。また、ボランティア活動を行う際に、何をなすべきかを考えられる力を育成していきます。

～廣瀬教頭～

* 自ら考えて、自分でできることをして、周囲の役に立ちたいと考える生徒も出てきた。

* コロナ禍の中で、休業中であることから生徒に余裕が生まれ、余裕があるからこそ自分自身の発信力につながっていったようである。生徒は自らの状況を分析し、担任との二者懇談に臨み、担任も段階的にステップを踏んで指導している姿がみられた。

6 懇談

正木評議員

「吉田高校の生徒は、本当にまじめでよく頑張っている。」

宮下評議員

「本当にまじめに学校生活を送っているように見受けられる。コロナ禍の最中、街中で登校する姿を見ることができなかったが、学校再開とともに、制服を着て登校する生徒たちを見るにつけ、学校に行き、友達と会い、学ぶことが大切なんだと感じた。」

「この夏、甲子園大会の県予選がなくなり、代替大会が開催されるにあたり、野球部の生徒にアンケートが実施されたので、その一部をお伝えしたいと思います。」

『一試合だけでも、保護者やこれまでお世話になった人たちのために、努力の成果を見せられる機会が欲しい。』という答えを聞いて、思った以上に大人の考え方ができていると感じた。」

栗井評議員

「吉高 GP に含まれている力は、本当に社会に出でから重要な身につけるべき力であるといえる。コロナ禍におけるこれからの社会を生き抜く上で、今まで以上に吉高 GP の持つ意味は、大きくなってきたと思う。」

勝俣評議員

「下吉田中学校も長らく休業が続いたが、ようやく再開できた。吉田高校で取り組んでいることは、中学校にとっても刺激となり、やれることから参考にしていきたい。」

7 諸連絡

* 10月の第2回評議員会は、日程変更の可能性がります。(谷内教頭)